

## 倫理プリント



# イスラーム教



### (i) イスラーム教の成立

■ イスラームとは … アラビア語で「唯一神<sup>[1]</sup> ]への<sup>[2]</sup> ]服従」という意をもつ

まず初めに抑えておくべき基本事項として、この唯一神はユダヤ教やキリスト教の神と同じであるということ。  
ゆえに、アダムとイブから始まった歴史も同じであるし、旧約聖書・新約聖書も聖典として扱う。  
つまり、伝え方の違いで異なる宗教と考えよう。ユダヤ教のモーセ、キリスト教のイエスでは十分に神の意思を伝えられていなかったとして、最も優れた新たな預言者が登場する。この人物こそが、イスラームの創始者である。

## ムハンマド ■ アラビア半島(570-632)

最後の預言者



- ・メッカの商人。幼い頃に孤児となったが商売を学び安定した生活を送れるように。
- ・酒や賭博をやらず、商売でごまかすこともなく、“正直者のムハンマド”と呼ばれた。
- ・40歳の頃、大天使ガブリエルを通じて神の啓示を受け、イスラーム信仰を説き始める。

### ■ イスラームの成立

当時の背景 商業都市メッカ…貿易の中継+カーバ神殿への参拝客で繁栄

裕福な大商人 → 多くの奴隷を使役し贅沢な生活



貧しい人々 → 飢えと病気に苦しむ

女性の権利 → 無いに等しく、夫は妻を無制限にもち気に入らなければ家から放り出した。

女の子が生まれることを恥じる風潮もあり、赤ん坊を生き埋めにすることも…。

#### カーバ神殿

元々はユダヤ教の神殿だったが、唯一神への信仰が薄れる  
→7c頃には、部族が信仰する神々の偶像 360種が祀られ崇拜対象に

\* 360種の神など存在するのか？

ムハンマドの疑問…

\* 石や木でできた像が、人間に利益や災難を与えることがあるのか？

\* 裕福なものが威張って暮らし、病気のもの・貧者・女性や孤児が見捨てられる社会は正しいのか？

メッカ郊外のヒラー山の洞窟で瞑想をしていると、神の言葉を耳にする。

神の啓示を受けたとして、メッカの人々にその啓示を伝える活動を開始。 = **イスラーム教の始まり**

・神は<sup>[3]</sup> ]であり 360の神々は誤り

・神の像を作り崇拜してはならない=<sup>[4]</sup> ]の禁止

・神の前では皆平等である→ユダヤ教の選民思想を否定

・女性を愛し尊敬せよ

・蓄財し貧者や孤児を踏みつけている者は

今すぐその行いを改め、施しをせよ

偶像崇拜の禁止や、ぜいたくな暮らしの否定は、富裕層の反感を買い、激しい迫害を受けることに

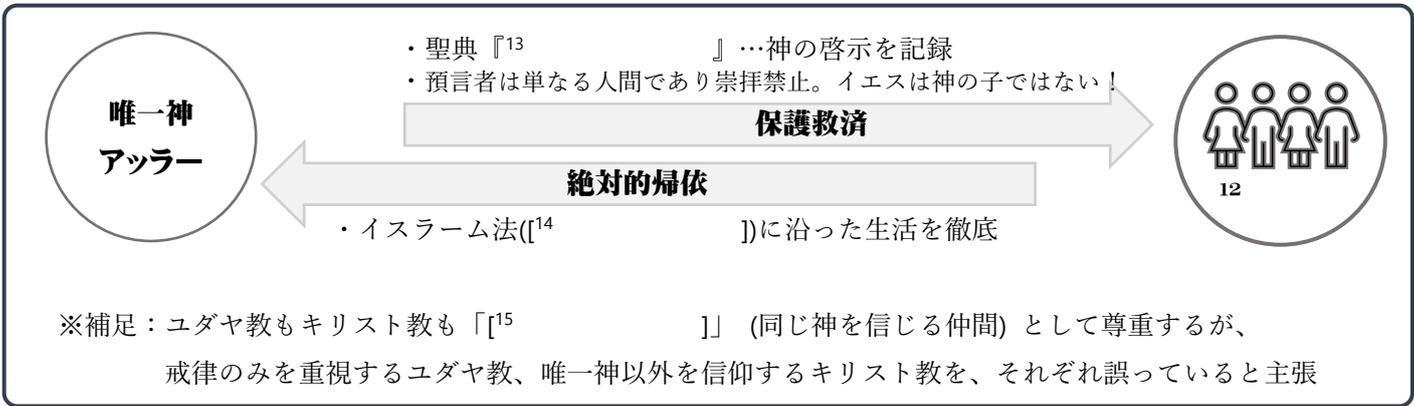
622 メッカから<sup>[5]</sup> ]に逃れる = <sup>[6]</sup> ](<sup>[7]</sup> ) ※この622年がイスラーム暦元年  
イスラーム共同体(ウンマ)を組織して、630年にはメッカを無血征服 ⇒ 以後、イスラームの聖地に

■ イスラームの展開

632 ムハンマド死去 → 彼の後継者(=[<sup>8</sup> ])を選出し、[<sup>9</sup> ](ジハード)を遂行  
 ▲イスラームの信仰を貫き、神のことばを普及させることを目的とした闘い

- ・カリフの違いにより、家系にこだわらない多数派([<sup>10</sup> ])と血統重視の少数派([<sup>11</sup> ])に派生
- ・闘いを経て勢力を拡大させていき、西アジア全域に拡大 → 世界宗教となる

(ii) イスラーム教の教え



★特に大切なのが、イスラーム法に従った日常生活であり、具体的に示した信仰対象・行動義務あり = 六信五行

<b>六信</b> 6つの 信仰対象	16	唯一神アッラー
	17	神と預言者の仲介者（大天使ガブリエルが最上位）
	18	神の啓示を示す書（『クルアーン』や『聖書』の一部など）
	19	神の意志を伝える者（モーセ、イエス、ムハンマドなど）
	20	今の人間活動の報いを受ける場
	21	全ては神アッラーの思うような運命に左右されること

<b>五行</b> 5つの 行動義務	22	ラ・イラーハ・イッラッラー      ムハンマダン・ラスールッラー 「アッラーは唯一神」「ムハンマドはその使徒」と言う。
	23	1日5回（日の出前・正午・日没前・日没後・夜）、1回約20分、メッカの方向に向かって祈る。金曜正午は最寄りの礼拝所で集団礼拝
	24	決められた時期（イスラーム暦で9月）に、日の出から日没まで飲食禁止
	25	貧者を助けるための、救貧税を納める
	26	一生に一度は、聖地メッカのカーバ神殿へ巡礼に行く。

<b>禁忌</b> (ハラム)	飲酒は禁止（発覚すればムチ打ち40回）	豚肉やアルコール成分禁止	
	異教徒が殺した動物を食べるのも禁止	利子を取ることは禁止	
	妻は4人まで。平等に愛すべし	婚外性交渉は厳禁	
	女性は魅力的に見える部分を隠す	※食べられるものはハラルフードとして認証	

※ 聖職者にあたる存在はいない … 人々はクルアーンを通じて、直接教えを知ることが出来るため  
 シャリーアを研究するイスラーム法学者は存在しており、クルアーンの範囲内で国内法の整備を実施。  
 イスラーム法を国のルールとして運用している国もある（例）サウジアラビア、イランなど

## 倫理プリント



# イスラーム教



### (i) イスラーム教の成立

- イスラームとは … アラビア語で「唯一神<sup>[1]</sup> **アッラー**」への<sup>[2]</sup> **絶対的**「服従」という意をもつ

まず初めに抑えておくべき基本事項として、この**唯一神はユダヤ教やキリスト教の神と同じであるということ**。  
ゆえに、アダムとイブから始まった歴史も同じであるし、旧約聖書・新約聖書も聖典として扱う。  
つまり、伝え方の違いで異なる宗教と考えよう。ユダヤ教のモーセ、キリスト教のイエスでは十分に神の意思を伝えられていなかったとして、最も優れた新たな預言者が登場する。この人物こそが、イスラームの創始者である。

## ムハンマド ■ アラビア半島(570-632)

最後の預言者



- ・メッカの商人。幼い頃に孤児となったが商売を学び安定した生活を送れるように。
- ・酒や賭博をやらず、商売でごまかすこともなく、「**正直者のムハンマド**」と呼ばれた。
- ・40歳の頃、大天使ガブリエルを通じて神の啓示を受け、イスラーム信仰を説き始める。

### ■ イスラームの成立

当時の背景 **商業都市メッカ…貿易の中継+カーバ神殿への参拝客で繁栄**

**裕福な大商人** → 多くの奴隷を使役し贅沢な生活



**貧しい人々** → 飢えと病気に苦しむ

**女性の権利** → 無いに等しく、夫は妻を無制限にもち気に入らなければ家から放り出した。

女の子が生まれることを恥じる風潮もあり、赤ん坊を生き埋めにすることも…。

#### カーバ神殿

元々はユダヤ教の神殿だったが、唯一神への信仰が薄れる  
→7c頃には、部族が信仰する神々の偶像 360種が祀られ崇拜対象に

\* 360種の神など存在するのか？

ムハンマドの疑問…

\* 石や木でできた像が、人間に利益や災難を与えることがあるのか？

\* 裕福なものが威張って暮らし、病気のもの・貧者・女性や孤児が見捨てられる社会は正しいのか？

メッカ郊外のヒラー山の洞窟で瞑想をしていると、神の言葉を耳にする。

神の啓示を受けたとして、メッカの人々にその啓示を伝える活動を開始。 = **イスラーム教の始まり**

・神は<sup>[3]</sup> **唯一神** ]であり 360の神々は誤り

・神の像を作り崇拜してはならない = <sup>[4]</sup> **偶像崇拜** ]の禁止

・神の前では皆平等である → ユダヤ教の選民思想を否定

・女性を愛し尊敬せよ

・蓄財し貧者や孤児を踏みつけている者は  
今すぐその行いを改め、施しをせよ

偶像崇拜の禁止や、ぜいたくな暮らしの否定は、富裕層の反感を買い、激しい迫害を受けることに

622 メッカから<sup>[5]</sup> **メディナ** ]に逃れる = <sup>[6]</sup> **聖遷** ](<sup>[7]</sup> **ヒジュラ** ) ※この622年がイスラーム暦元年  
イスラーム共同体(**ウンマ**)を組織して、630年にはメッカを無血征服 ⇒ 以後、イスラームの聖地に

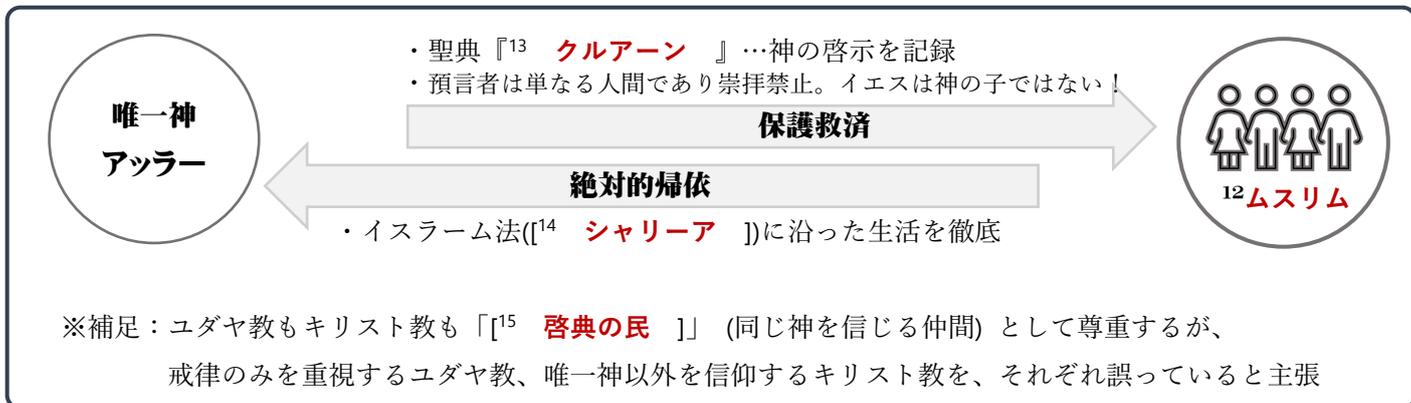
## ■ イスラームの展開

632 ムハンマド死去 → 彼の後継者(=[<sup>8</sup> **カリフ** ])を選出し、[<sup>9</sup> **聖戦** ](ジハード)を遂行

▲イスラームの信仰を貫き、神のことばを普及させることを目的とした闘い

- ・カリフの違いにより、家系にこだわらない多数派([<sup>10</sup> **スンナ派** ])と血統重視の少数派([<sup>11</sup> **シーア派** ])に派生
- ・闘いを経て勢力を拡大させていき、西アジア全域に拡大 → 世界宗教となる

### (ii) イスラーム教の教え



★特に大切なのが、イスラーム法に従った日常生活であり、具体的に示した信仰対象・行動義務あり = **六信五行**

<b>六信</b> 6つの 信仰対象	16	<b>神</b>	唯一神アッラー
	17	<b>天使</b>	神と預言者の仲介者（大天使ガブリエルが最上位）
	18	<b>啓典</b>	神の啓示を示す書（『クルアーン』や『聖書』の一部など）
	19	<b>預言者</b>	神の意志を伝える者（モーセ、イエス、ムハンマドなど）
	20	<b>来世</b>	今の人間活動の報いを受ける場
	21	<b>天命</b>	全ては神アッラーの思うような運命に左右されること

<b>五行</b> 5つの 行動義務	22	<b>信仰告白</b>	ラ・イラーハ・イッラッラー ムハンマダン・ラスールッラー 「アッラーは唯一神」「ムハンマドはその使徒」と言う。
	23	<b>礼拝</b>	1日5回（日の出前・正午・日没前・日没後・夜）、1回約20分、メッカの方向に向かって祈る。金曜正午は最寄りの礼拝所で集団礼拝
	24	<b>断食</b>	決められた時期（イスラーム暦で9月）に、日の出から日没まで飲食禁止
	25	<b>喜捨</b>	貧者を助けるための、救貧税を納める
	26	<b>巡礼</b>	一生に一度は、聖地メッカのカーバ神殿へ巡礼に行く。

<b>禁忌</b> (ハラム)	飲酒は禁止（発覚すればムチ打ち40回）	豚肉やアルコール成分禁止	
	異教徒が殺した動物を食べるのも禁止	利子を取ることは禁止	
	妻は4人まで。平等に愛すべし	婚外性交渉は厳禁	
	女性は魅力的に見える部分を隠す	※食べられるものはハラルフードとして認証	

※ **聖職者**にあたる存在はいない … 人々はクルアーンを通じて、直接教えを知ることが出来るため  
 シャリーアを研究する**イスラーム法学者**は存在しており、クルアーンの範囲内で国内法の整備を実施。  
 イスラーム法を国のルールとして運用している国もある（例）サウジアラビア、イランなど